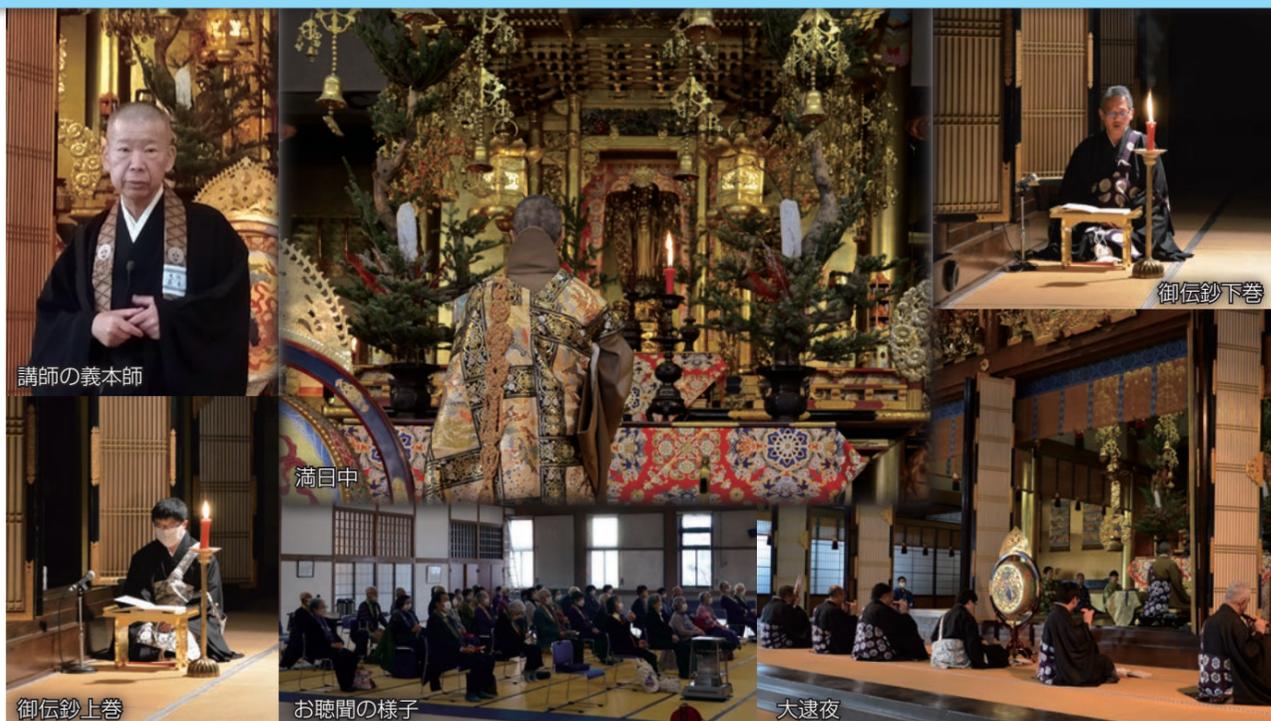


# 響け念仏 北の大地に 本願寺帯広別院だより

〒080-0803 帯広市東3条南5丁目3 TEL: 0155 (23) 3720  
FAX: 0155 (21) 4989 発行人: 輪番・仲尾信博

別院ホームページ  
http://www.betsuin.jp/ →

2023  
(令和5)年  
12月号



講師の義本師

御伝鈔下巻

満目中

御伝鈔上巻

お聴聞の様子

大遡夜

## 報恩講

今年の報恩講は11月13日(月) 16日(木)の4日間7座が勤まりました。5月に新型コロナが5類となったためコロナ前の日程に戻し、連日多くのお参りをいただきました。

ご講師には大阪教区交野組浄行寺前住職、元連研中央講師の義本弘導師にご出向いただきました。軽妙な語り口調に、お参りの皆さんは何度もうなずきながらお聴聞されていました。義本師は親鸞聖人が阿弥陀さまに出遇われた喜びや、立教開宗についてお話しくださり、来年5月19日勤修の「帯広別院 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」への弾みにもなりました。

また、令和2年以降中止していた役員表彰を行い、永年のご苦労に謝意を表しました。本年もお野菜はじめたくさんのご進納に御礼申し上げます。

## 12月のご案内

月例布教 1日～3日13時30分(講堂)  
常例布教 13日～16日13時(講堂・本堂) 宗祖月忌法要 15日・16日13時(本堂)  
おすす払い 24日7時(本堂)  
除夜会 31日23時30分(本堂)

## 1月のご案内

元旦会 1日9時(本堂)  
常例布教 13日～16日13時(講堂・本堂) 宗祖月忌法要 15日・16日13時(本堂)

1月1日～14日はお正月参りのため、恐れいりますが月参りはお休みさせていただきます。祥月中陰のお参りはうかがいます。

## 初参式

10月21日(土) 13時半、廣瀬秀平さんと可奈子さんの長男、翠くんの初参式をお勤めしました。



翠くんご両親。祖父母や有縁の方々も参列し、新しいのちの誕生をよこされた

廣瀬さんご夫婦は翠くんの誕生をご縁に初めて帯広別院本堂に参拝され、翠くんのための厳かな儀式を満面の笑みで喜んでおられました。

## 近所のデイサービスからご参拝

別院の近くにあるデイサービス「ライフカレッジ」の利用者32名が10月31日(火)～11月2日(木)、3日に分けて別院を参拝されました。本堂では「大きくてきれいでですね」「心が落ち着きます」などの声が聞こえたり、お寺参りの昔話に花を咲かせておられました。ご門徒の方は「入居してから何年もお参りできていなかったの、今日は嬉しいです」と話されました。



職員による楽の演奏を聞かれる皆さん

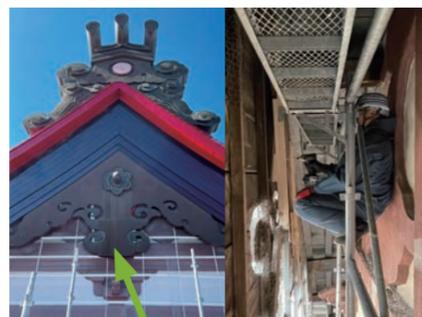
## 本堂建物補修工事



### 懸魚の補強工事

神社やお寺の大きな屋根には様々な装飾が施されます。その一つに三角の屋根につける「妻飾り」があり、「懸魚」という飾り板がよく取り付けられています。

懸魚は別院の屋根にも東西2か所があり、長年強風を受けてきた影響で大きなくらつきが見られたため、このたび補強工事を行いました。作



本堂西側の懸魚

懸魚と壁の間のせまい空間で作業する宮大工さん

業するのは高所、しかも写真のように窮屈な空間なので、宮大工さんは身体を折り曲げながらも細心の注意を払って作業されていました。

問題なのは、時間が無限だと思っ  
ていることです

これはお釈迦さまのお言葉です。若い頃わたしは、時間は無限にあるのだからゆつくり落ち着いて考えなさいとよく言われたものです。本堂に時間は無限なのでしょうか。残念ながら時間は無限ではありません、有限です。

時間が無限にあると考えると、何かをするときに、先延ばしにしてしまう私がいいます。時間は有限だと常に思うだけで、怠け心は動しむ心に変わっていくのではないのでしょうか。お釈迦さまのお言葉をいただきながら、いま一度、この瞬間を大事に歩むことが必要なのではないかと思っ  
ています。  
(渡邊)

自他ともにたい人我兼利  
せつな言葉紹介

### 仏教壮年会報恩講

11月1日(水)午前11時、仏教壮年会の報恩講が勤められました。新たな役員体制となつて初めての報恩講に、本江英敏会長はじめ多くの会員がお参りされました。「正信偈」のお勤め、仲尾輪番によるご法話があり、親鸞聖人のご苦勞を偲ばせていただきました。法要後は皆でお齋をいただきました。人との繋がり温かさを感ぜさせていただきました。ご縁となり、皆さんの会話ははずんでいました。



壮年会の皆さん。「想念亭」の看板とともに

### 聖徳講報恩講

聖徳講は大正10年、聖徳太子1300年忌を記念して開講されました。当時は水害や冷害が多く、それに起因するもめ事もありました。そこで、聖徳太子の「和を以て尊しとなす」の教えに学ぼうとされたのです。お講の解散から7年となる今年、10月22日(日)13時半から、かつて念仏道場とされていた北宝来会館で報恩講のお勤めをしました。お参りされた元講員の皆さんは、「懐かしいです」「ここでまたみんなでお参りできて嬉しいです」、お孫さんと来られた谷口善一さんは「わたしも昔、祖父に連れられてお参りしました。当時は甘い物が少なく、お参りの後に買ってもらった柿が楽しみでした」と懐かしんでおられました。



北宝来会館で久々の報恩講に集われた元講員の皆さん

### 帯広別院報恩講

#### 役員表彰された方々



役員表彰式の様子

- |       |         |
|-------|---------|
| 40年表彰 | 堀 勝様    |
| 30年表彰 | 岡田 幸紀様  |
| 10年表彰 | 朝井 優様   |
|       | 新井 重直様  |
|       | 池田 正幸様  |
|       | 鎌田 悦己様  |
|       | 関谷 高雄様  |
|       | 高橋 英子様  |
|       | 西田 雅喜様  |
|       | 野村 美恵子様 |
|       | 本田 政治様  |
|       | 山田 和雄様  |

#### お野菜等を ご進納された方々

- |        |         |        |      |        |        |        |        |        |
|--------|---------|--------|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 関谷 光丸様 | 野村 美恵子様 | 青山 誠治様 | 堀 武様 | 西田 利文様 | 高久 義隆様 | 八代 政孝様 | 野原 忠広様 | 梶原 雅仁様 |
|--------|---------|--------|------|--------|--------|--------|--------|--------|
- ありがとうございます

#### 常例布教ご講師の紹介

- 12月13日(水) 16日(土) 13時  
函館市 上野顕至師
- 1月13日(土) 16日(火) 13時  
福井県 瓜生順法師
- 2月13日(火) 16日(金) 13時  
大阪府 小西善憲師
- ※15日と16日の布教は、宗祖月忌法要に引き続き行います。

### ご法話



## 仏法も感謝も いそげいそげ

文：松原真慈

電信通り沿いの帯広別院の掲示板に、大きな字で「仏法は いそげいそげ」と蓮如上人の言葉が掲げてあります。

私たちは今日にも往生を迎えるかもしれない身ですが、当たり前前日があると思つて過ごしているため、本当に大切なことを後回しにしがちです。

ある新聞に、70代女性の「夫へありがとう」という投稿が載っていました。女性の夫は無口で人見知りな普通の会話も「うん」「いや」といった短い言葉が多いそうです。それでも、女性の母親が寝たきりになると、女性が「家でお母さんをみたい」と言いだしにくかったとき、夫から「おれも加勢するから家で二人でみよう」と声をかけてくれたそうです。また、女性が体調不良で病院通いの日常となり主婦業もおろそかになつてからは「お茶が入ったぞ」というご主人の言葉で起きるようになったそうです。女性は「近ごろ夫の優しさが身にしてみる。いや若いころも優しくあったのだが、それに慣れすぎた感謝の気持ちをおぼえていたのだ」と書かれていました。

普段、当たり前前日過ぎてお陰様に気づき感謝の人生を歩むことができます。あつという間に今年も過ぎてゆきます。ご一緒に手をあわせ、仏法をいただいてみませんか。そして、大切な方に感謝を伝えましょう。

### 12月 オススメの一冊



#### 『いつだってともだち』

文：エリカ・バイツェ 絵：エリック・パドゥー 訳：那須田淳 講談社 1600円＋税

アフリカ象の子象ベノには、フレディという友達がいまいた。あるとき、フレディの家族が引っ越していきました。元気をなくしたベノはめめそめるばかり。物知りふくろうが、3つのできることを教えてくれました。「ひとつ、かなしいときにはがまんせずになくこと」「ふたつ、かなしいきもちをだれかにはなすこと」「みつ、こころのなかにともだちのへやをつくること」。

ベノは少しずつ元気になりました。押しこみ込まず、抱え込み、思いを大切にすると、いつだって会いたいときに会える世界があると教えてくれる絵本です。(後藤)